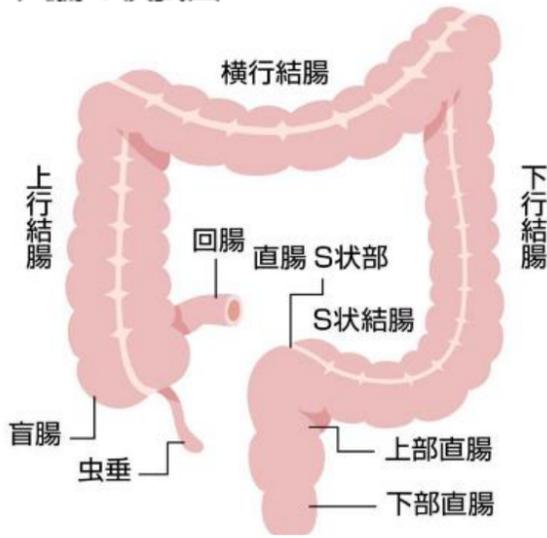


ここ大事!

大腸がん啓発月間

大腸の模式図



Copyright © National Cancer Center All Rights Reserved.

大腸 : 長さは1.5m~2mほどです。大腸の役割: 水分を吸収し便を作ることです。栄養素の消化吸収作用はほとんどなく、小腸で消化吸収された食物の残りは、大腸で水分が吸い取られ、肛門に至るまでにだんだんと固形の便になっていきます。大腸での水分吸収が不十分だと軟便になったり、下痢をおこしたりします。

大腸がん(結腸・直腸)とは
①腺腫という良性ポリープががん化して発生
②正常な粘膜から直接発生

●大腸がんの死亡数は食の欧米化の影響が増加傾向にあり、今後も増加すると予想されます。近年、女性では死亡数のトップとなっています。しかし、早期に発見して治療すればほぼ治療が可能ながんです。

大腸がん検診の基本

2日間にわたって便を採取し、血液の成分が混じっていないかを調べる「便潜血検査」です。

対象年齢: 40歳以上

受診間隔: 年に1回

受診場所: 市町で実施しています。集団検診の会場で配布または提出したりします。また、一部の市町では個別検診も実施されています。

費用: 市町によって異なります。無料~1000円程度の自己負担で受けることができます。受診の際は、各市町にお問合せください。

結果: 検査後1ヶ月ほどで主に文章で通知されます。

精密検査(二次検診): 一次検診で「要精密検査」となった場合、一般的に大腸内視鏡検査が行われます。腸を空っぽにしたうえで、内部を直接観察して詳しく調べます。「痔だから」などと勝手に自己判断して精密検査を受けないことは絶対にしないでください。

危険なサイン(大腸がんの初期症状)

大腸がんは早期の段階では症状がほとんどありませんが、以下のような症状(サイン)が現れた場合は、大腸がんを疑って医療機関で検査を受けましょう。

●便に血や粘液が混じったり、下血したりする(痔と自己判断しないこと)

●下痢と便秘を繰り返す(便通異常)

●残便感がある

●腹部に膨満感がある

●腹痛がある

●肛門通がある

●腹部にしこりがある

●腹鳴(おなかがゴロゴロ鳴ること)がある

●便が細くなった(便柱狭小化)

●貧血症状が続く

出典: 日本対がん協会 大腸がんの基礎知識より

部分別にみる大腸がんの症状

Table with columns: 腫瘍の位置, 右側大腸がん, 左側大腸がん. Rows include symptoms like 腹痛・嘔吐, 貧血, 血便, 便柱狭小化, 排便習慣の変化, 腫瘤触知.

◎: 発見の契機になりやすい症状 ○: 比較的起こりやすい症状 △: 稀な症状 -: 起こらない

Copyright © National Cancer Center All Rights Reserved.

上表: 症状の現れ方

大腸がんは早期のものは無症状ですが、進行すると症状が出現することがあります。大腸がんの位置により出やすい症状が異なるとされており、硬い便が通る下行結腸やS状結腸、直腸のがんでは便の通りが悪くなることによる腹痛、嘔吐が起こりやすいとされ、血便や便の狭小化も認めやすくなります。一方で便がまだ水様で固まりきっていない盲腸、上行結腸、横行結腸に出来る大腸がんでは進行しても腹部症状が目立たないことが多く、貧血や腹部のしこりと言った症状で発見されることがあります。

では、質問です?

2020年 全国の大腸がん罹患数は



2023年 全国の大腸がん死亡数は



佐賀県はどうでしょうか?

佐賀県でも、全国同様大腸がんの罹患数・死亡数ともに上位に位置しています。最新の佐賀県の状況です。

罹患数 男女別大腸がん罹患数 男女別全がん罹患数

死亡数 男女別大腸がん死亡数 男女別全がん死亡数



出典: 国立がん研究センターがん情報サービス「最新がん統計」 出典: 厚生労働省「2023年人口動態統計(確定数)」 厚生労働省「全国がん登録 罹患数・率報告2020」

活動報告

2/9日 令和6年度

佐賀県がんピアサポーター・フォローアップ研修が開催されました

ピア(peer)は「仲間」「対等」の意味で、共通の体験と関心に基づいた仲間同士の相互支援活動をする人をピアサポーターと呼びます。同じ経験を持つ人が傾聴と情報提供を行うことによって、相手が問題を自分で解決していくように手助けするというピアサポーターによる支援は、従来の専門職による支援とは異なる効果があるとされています。

2月9日(日)佐賀県がん総合支援センター(公益財団法人佐賀県健康づくり財団)にて開催されたがんピアサポーター・フォローアップ研修では「コミュニケーション技術を磨く」をテーマに研修がおこなわれ、たくさんの方が受講されました。



講師: 佐賀大学医学部精神医学講座 助教 松島 淳 先生

ご案内

佐賀県がん患者・家族つどいの会

不安、悩み、治療や薬のこと...共通の悩みを持つ方同士いろんなことをお話しませんか? 聞いて共感し、誰かに聞いてもらい外にはき出すことも大切です。臨床心理士、医療ソーシャルワーカー、がん相談員もおりますので、ご希望の方は個別相談(要予約)も可能です。安心してご来館ください。

- 日 時: 令和7年3月16日(日) 受付 12:30~ 13:00~14:00 「あんこ花作り」講師 吉田佐織さん 14:00~16:00 親睦・交流会
●場 所: 佐賀メディカルセンタービル 1階さん愛プラザ/3階研修室 (〒840-0054 佐賀市水ヶ江1丁目12-10)

- 対象者: がん患者又はその家族の方
●定 員: 20名程度(材料に限りがあるため、必ずお申込みをお願いします)
●参加料: 無料
●申込方法: 住所、氏名、電話番号、家族同伴の有無をご連絡ください

下記のフリーダイヤルへ、3月13日(木)まで

佐賀県がん総合支援センターさん愛プラザ
「がんの悩み相談ダイヤル」
おひとりでもお電話ください。がん患者・家族つどいの会についても、こちらで受け付けいたします。
(フリーダイヤル) 0120-246-388
※相談日: 月~金曜日(祝・年末年始・祝日除く) ※時間: 9時半~13時、14時~16時半



《さがんだより新聞の問合せ先》

健康福祉政策課 がん撲滅特別対策室 担当 本田
TEL: 0952-25-7491 FAX: 0952-25-7206
E-mail: kenkoufukushiseisaku@pref.saga.lg.jp



大腸がん検診を

これから受ける方、
受けた方へ

大腸がん検診を受ける前に 知っておくこと

大腸がんは罹患する人（かかる人）が増加しており、わが国のがんによる死亡原因の上位に位置しています。国が推奨している大腸がん検診（便潜血検査）は「死亡率を減少させることが科学的に証明された」有効な検診です。早期発見、治療で大切な命を守るために、40歳以上の方は毎年、繰り返し検診を受診し、「要精密検査（便潜血検査陽性）」という結果を受け取った場合には必ず精密検査を受けるようにしてください。

すべての検診には「不利益」があります。がんは発生してから一定の大きさになるまでは発見できませんし、検査では見つけにくいがんもありますので、すべてのがんががん検診で見つかるわけではありません。また、がんでなくても「要精密検査」と判定されることもあります。

がん検診の利益（がんで亡くなることを防ぐ）と不利益のバランスの観点から、このリーフレットにある受診年齢、受診間隔、検査項目を守りましょう。

詳細はこちらをご覧ください。
https://ganjoho.jp/public/pre_scr/screening/about_scr01.html



大腸がん検診の流れ



便潜血検査

便に混じった血液を検出する検査です。ご家庭で2日分の便を採取します。がんやポリープなどの大腸疾患があると大腸内に出血することがあり、その血液を検出することが目的です。（通常は微量で、目には見えません）



便潜血検査で「要精密検査」の結果なら必ず精密検査を受診

大腸がんがあっても症状が出ないことはよくあります。「症状がないから大丈夫」などと自己判断せず、必ず精密検査を受けてください。また、便潜血検査が毎回陽性になるわけではないので、もう一度便潜血検査をするのは良くありません。一度陽性の反応が出たら、必ず精密検査を受けてください。

精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査

全大腸内視鏡検査
下剤で大腸を空にした後に、肛門から内視鏡を挿入して直腸から盲腸までの全部を観察し、がんやポリープなどがなければ調えます。必要に応じて組織を採取し悪性かどうか診断します。

大腸のX線検査（大腸内視鏡との併用法）
大腸全体を内視鏡で観察することが困難な場合には、内視鏡が届かない奥の大腸をX線検査で調べます。下剤で大腸を空にした後に、肛門からバリウムを注入し、空気で大腸をふくらませて、大腸全体のX線写真を色々な方面から撮影します。

40歳になってから、1年に1回、便潜血検査を繰り返し受けることで、大腸がんで亡くなることを防ぐことができます。

大腸がんの中には急速に進行するがんもあります。早期発見のために必ず毎年、繰り返し検診を受けてください。血便、腹痛、便の性状や回数が変化した、などの症状が続く場合には次の検診を待たずに医療機関を受診してください。

大腸がんについて

- わが国では罹患する人が増加しており、がんによる死亡原因の上位に位置するがんです。
- 大腸がん検診で早期に発見して治療することにより、大腸がんで亡くなることを防ぐことができます。検診は自覚症状がないうちに受けることが大事です。
- 大腸がん検診は40歳になったら毎年、便潜血検査を繰り返し受けてください。ただし、血便、腹痛、便の性状や回数が変化したなどの症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。
- 大腸がん検診には利益（大腸がんで亡くなることを防ぐ）と不利益（偽陰性、偽陽性など）があります。偽陰性とは実際にはがんがあるのに見つけられないこと、偽陽性とは実際にはがんでないのに「要精密検査」と判定されることです。利益が不利益を上回るように受けることが大事です。このリーフレットでご案内した検診方法（受診年齢、受診間隔、検査項目）は、検診の利益が不利益を上回ることが科学的に認められています。
- 大腸がん検診で「要精密検査」となった場合は大腸がんの疑いがありますので、必ず精密検査を受けてください。
- 精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査です。
- 全大腸内視鏡検査が困難な時は、大腸内視鏡検査と注腸X線検査を組み合わせた検査などを行う場合もあります。

「大腸がん」「がん検診」などのがんの情報についてもっと詳しく知りたい方に、国立がん研究センターのがん情報サービスは、わかりやすく確かな情報をお届けしています。

国立がん研究センター
がん情報サービス ganjoho.jp



つくるを支える
届けるを贈る
がん情報ギフト

国立がん研究センターは、皆さまからのご寄付で「確かな・わかりやすい・役立つ」がん情報をつくり、全国の図書館などにお届けするキャンペーンを行っています。ぜひご協力ください。

発行：国立がん研究センターがん対策研究所 2023年12月
協力：厚生労働行政推進調査事業費補助金「検診効果の最大化に資する職域を加えた新たながん検診精度管理手法に関する研究」班
国立がん研究センター研究開発費「働く世代におけるがん検診の適切な情報提供に関する研究」班

※<市区町村の住民検診を受けられた方へ>
がん検診の精度管理のため、精密検査の結果は市区町村へ報告されます。また最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は、最初に受診した医療機関にも後日精密検査結果が共有されます。

佐賀県 公益財団法人 佐賀県健康づくり財団

がん患者・家族 つどいの会

日時：令和7年3月16日（日）13:00~16:00

13:00~14:00 ひなまつり あんこ花作り
講師 吉田佐織さん

14:00~16:00 交流会
不安、悩み、治療のことなど共通の悩みをお話しませんか？
臨床心理士、がん相談員もおります。
ご希望の方は個別相談（要予約）も可能です。

- 場所：佐賀メディカルセンタービル
1階 さん愛プラザ / 3階 研修室
(〒840-0054 佐賀市水ヶ江1丁目12-10)
- 対象者：がん患者又はその家族の方
- 定員：20名程度
(材料に限りがあるため、必ずお申込みをお願いします)

- 参加料：無料
- 申込方法：住所、氏名、電話番号、家族同伴の有無を下記のフリーダイヤルまでご連絡ください
- 申込期限：令和7年3月13日（木）

佐賀県がん総合支援センターさん愛プラザ

〒840-0054 佐賀市水ヶ江1丁目12-10
(佐賀メディカルセンタービル1F)

☎「がんの悩み相談ダイヤル」
おひとりでも大丈夫に、お電話ください。
がん患者・家族つどいの会についても、こちらで受け付けいたします。
(フリーダイヤル) **0120-246-388**

● 相談日：月～金曜日(益・年末年始・祝日除く) ● 時間：9時半～13時、14時～16時半

